

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第90期中間期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、当社の主力である電池・電子製品を、家電や電源バックアップ、車載アクセサリなどの市場を中心にさらなる売上拡大に努めました。それらに加え、当社グループが強みを有する電池技術、回路技術およびパワーエレクトロニクス技術を結集させたバッテリーソリューション製品を、今後大きな成長が期待されるIoT・モビリティ・社会インフラなどの市場に向けて新規顧客開拓と拡販に努めました。一方、当社グループの成長戦略の実行に向けた資金調達を行なうため第三者割当による新株予約権を発行し、資本増強を開始しました。

当中間期の経営成績につきましては、売上高は前年同期に比べ3億84百万円増の363億62百万円となりました。営業利益は前年同期に比べ85百万円増の2億20百万円、経常利益は前年同期に比べ6億27百万円増の6億31百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は3億90百万円となりました。当中間期の業績の詳細につきましては、当報告書の4ページをご覧ください。

中間配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

下期以降につきましても、当社グループは業界トップクラスの電池技術と、蓄積された回路技術およびパワーエレクトロニクス技術を結集させ、変化、発展する社会に対して、「スマートエナジーマネージャー」としてお客様に「One FDK」でサービス・価値を提供してまいります。また、引き続き小型全固体電池用正極材料の能力の引き上げと実用化技術の開発に注力し、早期のサンプル出荷を目指します。社会の変化と進化に応じた事業の選択と集中につきましても、スピード感をもって取り組み、収益力の改善に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月



代表取締役社長

大橋 洋一

Profile プロフィール

1959年 8月27日生まれ

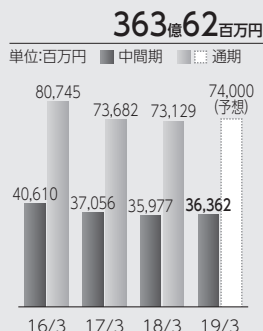
1982年 4月 富士通㈱入社

2017年 4月 当社顧問就任

2017年 6月 当社代表取締役社長就任

連結決算ハイライト

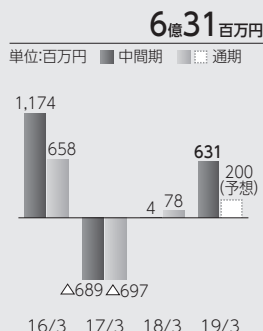
売上高



営業利益又は営業損失(△)



経常利益又は経常損失(△)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)

